

## 明治時代の歴史物語—月岡芳年を中心に

前期展示：9月4日(水)～10月20日(日)

後期展示：10月22日(火)～12月1日(日)

番号	会期	作者	作品名	年代	判型・技法
1	前期	月岡芳年	大日本名将鑑 天照皇大神	明治15年(1882)	大判錦絵
2	後期	月岡芳年	大日本名将鑑 上毛野八綱田・狭稻姫	明治13年(1880)	大判錦絵
3	前期	月岡芳年	大日本名将鑑 素戔鳴尊・稲田姫	明治13年(1880)	大判錦絵
4	後期	月岡芳年	大日本名将鑑 坂上田村麻呂	不詳	大判錦絵
5	前期	月岡芳年	大日本名将鑑 六孫王経基	明治12年(1879)	大判錦絵
6	後期	月岡芳年	大日本名将鑑 源義光・豊原時秋	明治12年(1879)	大判錦絵
7	前期	月岡芳年	大日本名将鑑 鎮西八郎為朝	明治12年(1879)	大判錦絵
8	後期	月岡芳年	大日本名将鑑 平惟茂	明治12年(1879)	大判錦絵
9	前期	月岡芳年	大日本名将鑑 平相国清盛	不詳	大判錦絵
10	後期	月岡芳年	大日本名将鑑 木曾義仲・大夫坊覚明	明治13年(1880)	大判錦絵
11	前期	月岡芳年	大日本名将鑑 右大将源頼朝	不詳	大判錦絵
12	後期	月岡芳年	大日本名将鑑 最明寺時頼入道	明治11年(1878)	大判錦絵
13	前期	月岡芳年	大日本名将鑑 武田大膳大夫晴信入道信玄	明治11年(1878)	大判錦絵
14	後期	月岡芳年	大日本名将鑑 織田右大臣平信長	明治11年(1878)	大判錦絵
15	前期	月岡芳年	大日本史略図会 第十二代景行天皇	明治13年(1880)	大判錦絵三枚続
16	後期	月岡芳年	大日本史略図会 第廿二代雄略天皇	明治12年(1879)	大判錦絵三枚続
17	前期	月岡芳年	大日本史略図会 第七十六代崇徳天皇	明治13年(1880)	大判錦絵三枚続
18	後期	月岡芳年	大日本史略図会 第九十一代龜山天皇	明治12年(1879)	大判錦絵三枚続
19	前期	月岡芳年	義経記五條橋之図	明治14年(1881)	大判錦絵三枚続
20	後期	月岡芳年	芳野二静判官別離図	明治19年(1886)	大判錦絵三枚続
21	前期	月岡芳年	新形三十六怪撰 秋風のふくにつけてもあなめあなめ をのこはいはしすゝき生けり 業平	明治23年(1890)	大判錦絵
22	後期	月岡芳年	新形三十六怪撰 貞信公夜宮中に怪を懼しむの図	明治22年(1889)	大判錦絵
23	前期	月岡芳年	新形三十六怪撰 葛の葉きつね童子にわかるゝの図	明治23年(1890)	大判錦絵
24	後期	月岡芳年	新形三十六怪撰 源頼光土蜘蛛ヲ切ル図	明治25年(1892)	大判錦絵
25	前期	月岡芳年	新形三十六怪撰 藤原秀郷龍宮城蜈蚣を射るの図	明治23年(1890)	大判錦絵
26	後期	月岡芳年	新形三十六怪撰 藤原実方の執心雀となるの図	明治23年(1890)	大判錦絵
27	前期	月岡芳年	新形三十六怪撰 清盛福原に数百の人頭を見る図	明治23年(1890)	大判錦絵
28	後期	月岡芳年	新形三十六怪撰 布引滝悪源太義平靈討難波次郎	明治22年(1889)	大判錦絵
29	前期	月岡芳年	新形三十六怪撰 大物之浦二靈平知盛海上ニ出現之図	明治24年(1891)	大判錦絵
30	後期	月岡芳年	新形三十六怪撰 平惟茂戸隠山に悪鬼を退治す図	明治23年(1890)	大判錦絵
31	前期	月岡芳年	新形三十六怪撰 仁田忠常洞中に奇異を見る図	明治23年(1890)	大判錦絵
32	後期	月岡芳年	新形三十六怪撰 鬼若丸池中に鯉魚を窺ふ図	明治22年(1889)	大判錦絵
33	前期	月岡芳年	新形三十六怪撰 内裏に猪早太鶴を刺図	明治23年(1890)	大判錦絵
34	後期	月岡芳年	新形三十六怪撰 地獄太夫悟道の図	明治23年(1890)	大判錦絵
35	前期	月岡芳年	新形三十六怪撰 やとるへき水も氷にとぢられて 今宵の月は空にこそあり 宗祇	明治25年(1892)	大判錦絵
36	後期	月岡芳年	新形三十六怪撰 武田勝千代月夜に老狸を撃の図	明治22年(1889)	大判錦絵
37	前期	月岡芳年	新形三十六怪撰 小早川隆景彦山ノ天狗問答之図	明治25年(1892)	大判錦絵
38	後期	月岡芳年	新形三十六怪撰 蘭丸蘇鉄之怪ヲ見ル図	明治24年(1891)	大判錦絵
39	前期	月岡芳年	月百姿 貞観殿月 源経基	明治21年(1888)	大判錦絵

40	後期	月岡芳年	つき百姿 やすらはて寝なましものを小夜ふけて かたふく迄の月を見しかな	不詳	大判錦絵
41	前期	月岡芳年	月百姿 はかなしや波の下にも入ぬへし つきの都の人や見るとて 有子	明治19年(1886)	大判錦絵
42	後期	月岡芳年	月百姿 石山月	明治22年(1889)	大判錦絵
43	前期	月岡芳年	月百姿 ほとゝぎすなをも雲みに上るかな 頼政とりあへず 弓張月のいるにまかせて	明治21年(1888)	大判錦絵
44	後期	月岡芳年	月百姿 足柄山月 義光	明治22年(1889)	大判錦絵
45	前期	月岡芳年	月百姿 五條橋の月	明治21年(1888)	大判錦絵
46	後期	月岡芳年	月百姿 音羽山月 田村明神	明治19年(1886)	大判錦絵
47	前期	月岡芳年	つき百姿 千代能がいたゝく桶の底抜けて みつたまらぬは月もやとらす	明治22年(1889)	大判錦絵
48	後期	月岡芳年	月百姿 吉野山 夜半月 伊賀局	明治19年(1886)	大判錦絵
49	前期	月岡芳年	月百姿 きよみかた空にも関のあるならば 月をとゝめて三保の松原	明治19年(1886)	大判錦絵
50	後期	月岡芳年	月百姿 朝野川晴雪月 孝女ちか子	明治18年(1885)	大判錦絵
51	前期	水野年方	楠正行弁の内侍を救ふ図	明治24年(1891)	大判錦絵三枚続
52	後期	水野年方	本田忠勝小牧山軍功図	明治24年(1891)	大判錦絵三枚続
53	前期	右田年英	英雄三十六歌撰 吹風のなこそこの関と思へとも 道もせにちる山桜かな 源義家	明治26年(1893)	大判錦絵
54	後期	右田年英	英雄三十六歌撰 まてしはし子を思ふ闇に迷ふらん むつのちまたの道しるへせん 本間資忠	明治26年(1893)	大判錦絵
55	前期	右田年英	英雄三十六歌撰 吉野山桜のすゑのいろいろに 驚かれぬる雪の曙 羽柴秀吉	明治27年(1894)	大判錦絵
56	後期	右田年英	英雄三十六歌撰 緑たつ松の葉ことに此君の 千歳の数を契りてそ見る 東照宮	明治26年(1893)	大判錦絵
57	前期	尾形月耕	月耕随筆 わかせこか来へき宵なりさゝかにの 蜘蛛のふるまいかねてしるしも 衣通姫	明治30年(1897)	大判錦絵
58	後期	尾形月耕	月耕随筆 縫乃工 呉織穴織	明治29年(1896)	大判錦絵
59	前期	尾形月耕	月耕随筆 天拝山 菅原道真	明治29年(1896)	大判錦絵
60	後期	尾形月耕	月耕随筆 加藤清正 賤ヶ嶽 軍功之図	明治30年(1897)	大判錦絵
61	前期	尾形月耕	楠正行四條啜忠戦之図	明治31年(1898)	大判錦絵三枚続
62	後期	尾形月耕	吉野山忠信代君討覚範図	明治36年(1903)	大判錦絵三枚続
63	前期	小林清親	日本外史之内 鎮西八郎源為朝	明治17年(1884)	大判錦絵三枚続
64	後期	小林清親	日本外史之内 後醍醐天皇 名和長重	明治12年(1879)	大判錦絵三枚続
65	前期	小林清親	小学日本略史 屋島の浦	明治16年(1883)	大判錦絵
66	後期	小林清親	小学日本略史 壇の浦	明治16年(1883)	大判錦絵
67	前期	小林清親	小学日本略史 名和湊	明治17年(1884)	大判錦絵
68	後期	小林清親	小学日本略史 子楠公	明治16年(1883)	大判錦絵
69	前期	小林清親	宇治川水馬図 佐々木高綱 梶原景季	明治31年(1898)頃	大判錦絵三枚続
70	後期	小林清親	明智左馬之助光春湖水乗打唐崎松之図	明治30年(1897)	大判錦絵三枚続
71	頁替	菊池容斎(著) 山下重民(編)	『考証前賢故実』	明治36年(1903)	木版
72	通期	菊池容斎(著)	『前賢故実』巻之六 板木	19世紀	

すべて当館蔵 (出品番号71:小野忠重旧蔵コレクション)

2024年9月4日 発行: 町田市立国際版画美術館 Machida City Museum of Graphic Arts

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1 <http://hanga-museum.jp/>